



建築工事業

完成した時の達成感が働く原動力です。

工事のイメージ写真例

1 基礎工事



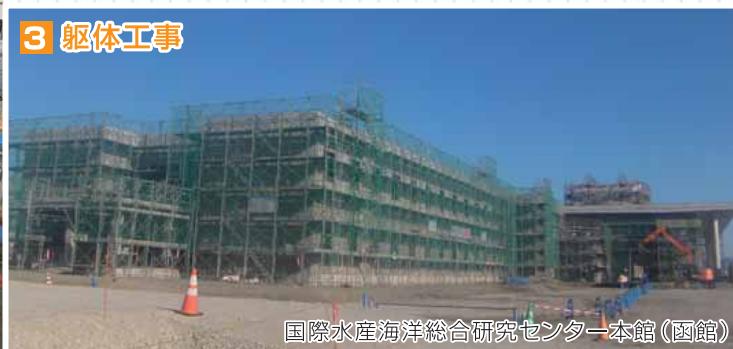
札幌医科大学研究施設改築工事

2 軸体工事



国際水産海洋総合研究センター本館(函館)

3 軸体工事



国際水産海洋総合研究センター本館(函館)

4 完成(外観)



国際水産海洋総合研究センター本館(函館)

5 完成(内観)



国際水産海洋総合研究センター本館(函館)

建築工事業の仕事内容

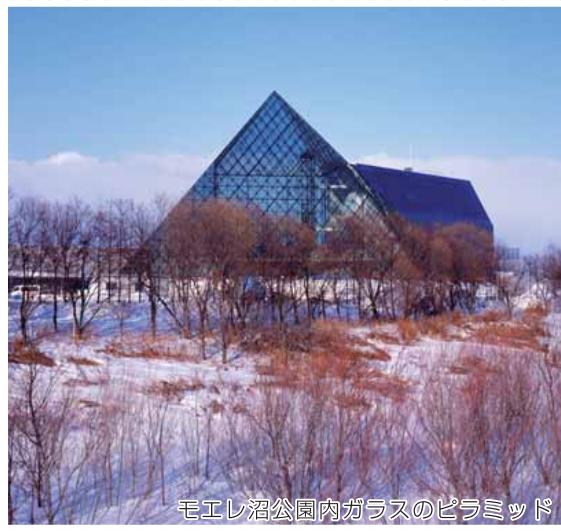
建築工事業は、庁舎・学校・図書館・病院などの公共的施設やスポーツセンター施設・マンション・戸建て住宅・ホテル・事務所ビル・工場などの民間施設など、あらゆる建物を造る仕事です。

この建築工事業は、企画・デザイン、設計、施工(工事)、完成後の維持管理など、ソフト・ハードの技術(特に近年では地震対応の技術も要求されています)を総合的に駆使して行われるもので。

建築に携わっている者にとって、自分の手掛けた建物が何十年もその地に残り、人々が快適、安全に暮らし、働き、様々な活動を進めていく上で不可欠なものとして受け継がれていくことは、何にも代えがたい誇りと喜びなのです。

関連する資格・免許

- 1・2級建築士
- 1・2級建築施工管理技士(2級は高校在学中に学科受検可能)





型枠大工事業

鉄筋コンクリートの建物は、型枠の中で産声を上げます。



型枠大工事業の仕事内容

鉄筋コンクリートの建物（RC造）は、まだ軟らかいコンクリートを建物の形の「枠」に流し込み、固まらせて作りますが、そうしたコンクリートの形を決める「型枠」を作り込む仕事が、型枠大工事業です。建物だけでなく、橋、トンネル、ダム、防波堤など、すべてのコンクリート構造物が対象です。

型枠大工は、図面を読んで型枠を加工し、平面上に描かれた2次元の設計図をもとに現場で立体的な3次元の構造物の形を組み上げる能力が求められます。同じ設計の建物はほとんどなく、またコンクリートはいったん固まると元には戻らないので、失敗が許されない責任の重い仕事です。

この型枠は、コンクリートが固まったら取り扱われますが、型枠の中で産まれたコンクリート構造物という形で未永く残ります。

関連する資格・免許

- 1・2級型枠施工技能士など



左官工事業

左官仕上げの味わいが再認識されています。

1 下地処理



2 下塗り



3 上塗り



左官工事業の仕事内容

左官工事業は、工作物に壁土、モルタル、漆喰、珪藻土等を「こて」塗り、吹きつけ又は貼り付けなどにより、建物の最終的な表面仕上げをする仕事です。左官は、戸建住宅や伝統的な寺社工事を専門とするものと、ビルやマンション工事を得意とするものに大別されます。

長年培われてきた日本の住まいに対する知恵と伝統技能によって確立されてきた多くの工法は、明治期に洋風建築工法をも吸収し、現代建築にも柔軟に対応してきていますが、近年、シックハウス症候群やアレルギー対策など健康・環境への配慮から漆喰等の自然素材を使用した施工が注目されています。また、多種多様な「こて」を使ったミリ単位の精度の手仕事による丁寧さや多様な味わいをもつ、左官仕上げの良さが再認識され、左官職人を目指す女性も増えています。

関連する資格・免許

●1~3級左官技能士(3級は高校在学中に取得可能)など



とび・土工 工事業

建築現場の最初から最後までが仕事です。

1 挖削



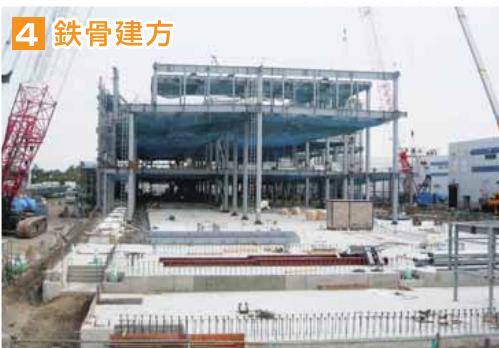
2 基本コンクリート打設



3 埋戻し



4 鉄骨建方



5 外部足場組立



仮設貨物リフト



外壁PC版



外部足場・コンクリートポンプ車



とび・土工 工事業の仕事内容

とび・土工は、建築現場に最初に入り、仮囲い、歩道養生等で、〔建設敷地を分離〕し、工事区画で工事関係者と第三者（近隣・通行人）の安全を図ります。次に〔基礎工事〕です。杭打ち、掘削、土止め、コンクリート打設、埋戻しなどの杭地業・土工事を行います。そして〔躯体工事〕です。基礎・土間・上り上り他、コンクリート工事、外部足場・内部足場の組立解体の仮設工事、鉄骨の移動・建方等の高所作業などです。さらにタワークレーン・リフト等の揚重機の組立解体、外壁PC版取付、フルPC工事時の梁・柱・床の組立設置工事などの作業があります。

また、運び込まれた建設資材を建設機械の運転で運搬移動させたり、他の業者の荷揚作業を安全効率的にサポートしています。仕上工事のあとには、足場の解体、仮設資材の荷下ろし移動、仮囲いの撤去となり、最後の片付けまでが仕事となります。

ダム、道路、空港などの土木工事では、土工は土を動かして「土構造物」を建設機械をバランスよく組合せてつくっていくのが仕事です。

とび工の仕事は、木造住宅をはじめ、ビルやマンション、橋や高速道路などの建設工事で、高所作業や重量物の運搬・設置など、様々な技能が要求され、工事の開始から完成まで幅広い仕事を受け持っています。

※PC(プレキャスト)工法とは、事前に工場生産された成型部材を建設現場に運び込んでつなぎあわせる工法。

関連する資格・免許

- 1～3級とび技能士（3級は高校在学中に取得可能）など



建設揚重業

移動式クレーンなどを使い、空間移動のスペシャリストに。



■ 建方本体工事(鉄骨等の吊上げ)



■ 基礎工事(掘削、鋼矢板等打込み)



■ 鉄筋(骨)の組立



■ 解体工事
(クレーンによる構造物の解体・吊下げ)

建設揚重業の仕事内容

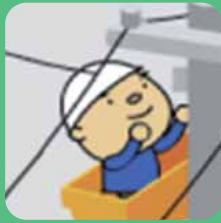
移動式クレーンを運転・操作して、建設工事現場で資材の配置や鉄骨の組立て、その他工事に付随する揚重作業、機械機器の据付等を専門に行うのが仕事です。

大きなビルを建てたり、橋や高架道路を造ったり、一戸建ての住宅の建前にも移動式クレーンは使われています。

重量物を吊り上げ、移動させるこうした移動式クレーンは、建設工事現場にとって必要不可欠であるとともに、工期の短縮にも大きな力を発揮しているのです。

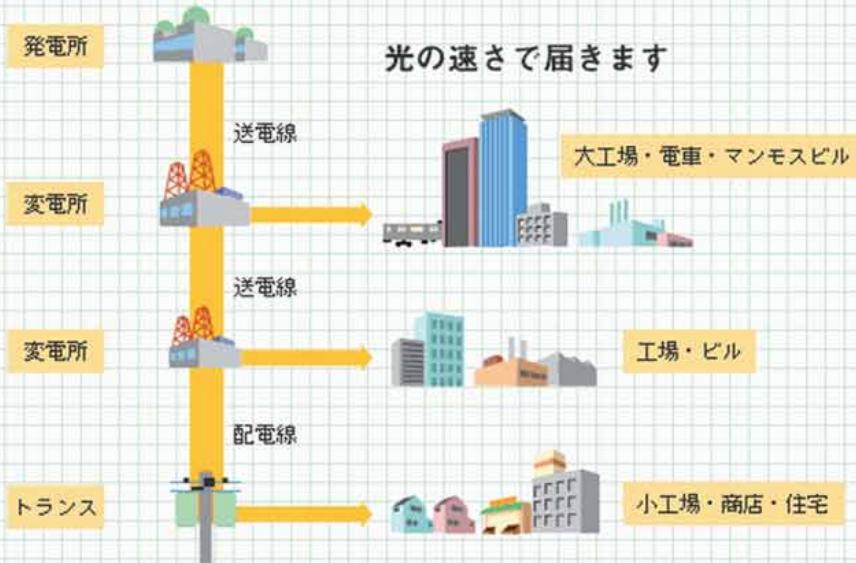
関連する資格・免許

- 大型免許・大型特殊免許
- 移動式クレーン運転士免許
- 玉掛技能講習 など



電気工事業

電気は最も重要なライフラインです。



配電線工事



屋内配線工事



屋内配線工事



屋内配線工事



屋内配線工事



ミーティング パソコンによる工事設計



電気工事業の仕事内容

電気工事には、火力・水力・原子力、及び太陽光・風力等の自然エネルギーを用いた発電設備、変電設備、配電線路、需要設備等からなる主要電気設備と、その設備の正常な運転状況を維持するための通信設備、空調電気設備、保護電気設備などに関わる仕事があります。

電気工事作業者は、建築物に電気の配線を行い、分電盤やコンセント、照明器具等を取付けて電気が安全に安心して使用出来る状態をつくります。また、修理や修復工事も行います。

実際の作業では、天井裏や床下、高所や屋外など厳しい条件で作業する事もありますが、人が生活する上で欠かせない「電気」、その最も重要なライフラインを担っているという責任と誇りを持ち、技術の向上を目指す必要があります。

キャリアアップに伴い、現場施工から施工管理、設計、積算へと仕事の内容も変わり、高度で複雑な電気システムを施工・管理するため、各種の国家資格を取得しなければ電気工事に携わる事が出来ません。

関連する資格・免許

- 第1・2種電気工事士（高校在学中に取得可能）
- 1・2級電気工事施工管理技士（2級は高校在学中に学科受検可能）